

文化情報誌

# たわわ

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。



2022  
No.115

劇団  
カレ  
ライ  
ブ  
ス

## 劇団カレーライス 代表 田中裕介さん



(左) 西村さん (右) 田中さん

劇団カレーライスは、浜岳中学校の演劇部がスタートです。

同じ高校に行った僕と西村の二人で演劇の大会に出たことを、他の浜岳中学校演劇部出身者たちが見て羨ましがったので、また皆でやろうという話になりました。それぞれの高校の知り合いも集めて劇団を立ち上げたのは、高校二年生の冬のことです。立ち上げてから今年でもう二十二年になります。

高校生だけで立ち上げたので、当時はまだ目新しかったホームページを作ったり、ツイッターに似たことをやったりして、新しいことや面白そうなことには反応が早かったと思います。

面白そうなこと、というのは劇団カレーライスの大事なキーワードです。

例えば草野球にお客さんがいなくても野球は成り立つけれど、演劇だとお客さんがいないと成り立たないですね。お客さんに足をわざわざ運んで損したとは思われたくないので、僕たちはエンターテインメント性を大事にしています。

そういうことから、劇団カレーライスはお芝居だけではなく、ダンスも日本舞踊も殺陣も歌もやります。色々なエンターテインメント要素に触られる劇団ということを魅力に感じている人も多くて、団員募集をすると、今でも若い世代、例えば中学生とかも興味を持ってくれたりします。

長年続けている中で団員の出入りは多いのですが、かつて劇団に参加していたメンバーが成長して日本舞踊や殺陣を教える側になっていたりするので、新しいエンターテインメントに挑戦する時には助けてもらえたりします。そんな風に、人との繋がりが年々増えていくのも長く続く劇団ならではのことでないでしょうか。

僕たちの劇団では、音響、セットなどの舞台効果から、チラシ・HP作成などの企画運営までほとんどが手作りです。

配信する映像の編集も自分たちですし、プロジェクションマッピングみたいな映像効果を作ったこともあります。それも全部自分たちでやっています。

脚本もオリジナル脚本でやることが多いです。「藤ヶ谷レイ」という座付きの脚本家が試行錯誤して脚本を作ります。

出演できる団員に合わせて役を作れるのが、手作りのいいところですね。主役の役者が固定しているわけではないので、脚本を作る中で主役に向いていると思えば、入団したばかりの団員が主役になることだってあります。

芝居作りの素地は、今思えば大学時代に出来上がった気がします。僕は大学で映画を専攻していたので、一年間で百本映画を見るという課題がありました。

物語の作り方の傾向や世間に評価されるエンターテインメントの傾向などは、この時の課題のおかげで知れた部分も大きい気がします。



バランス力を高める稽古中

今、湘南ひらつか市民演劇フェスティバル実行委員長もやっているのですが、演劇フェスティバルを通じて平塚を含めた周辺地域を盛り上げていきたいという気持ちがあります。

平塚の良さを少しでも外の人に伝えていきたいと思いますので、神奈川県といえば横浜が中心のように思われるところがありますが、横浜の方から人を呼び込めたら、と考えています。

今年の六月には、新しく開館するひらしん平塚文化芸術ホールで久しぶりの平塚での自主公演をする予定です。それを見た他市の劇団の人たちが自分たちもこのホールで演劇をやりたいと思って、平塚に稽古に通う人が出てきて、市外の人が七夕以外でも平塚に足を運んでもらえる機会が増えて、というのを思い描きます。

僕は特別に平塚愛が強いタイプだとは思っていませんでしたが、二十年平塚で演劇をやらせてもらっている中で、平塚に何かできればいいなと考えるようになりました。

六月の公演は新しいホールのお披露目にふさわしいような、華を添えられるような演目にしたいと考えています。興味を持っていただけたら嬉しいです。

### 劇団カレーライス

1998年12月に、現メンバーの田中、西村を含める浜岳中学校演劇部の卒業生たちが集い、高校生劇団として結成。

モットーは「子供から大人まで楽しめる舞台づくり」。ファンタジーから家庭ものなど幅広いジャンルの作品を上演する。



## 巡って学ぶ平塚学入門③

### 「中原御殿」

1590年、小田原北条氏の滅亡後、関東の領主となった徳川家康は、現在の平塚市域周辺へしばしば鷹狩りに訪れました。当初、家康は豊田本郷村の清雲寺を鷹狩の際の休息所としましたが、1595年、清雲寺が洪水の被害に遭ってしまいます。

そこで翌年、洪水被害を避けた砂丘上の中原の地に家康の宿所として中原御殿が造営されました。現在の平塚市立中原小学校がその敷地にあたります。

中原御殿は東西約141メートル、南北約101メートル、面積は4368坪で、四方には高さ約1メートルの土塁とともに、幅約10m、深さ約5メートルの堀がめぐらされています。



中原御殿の跡地を描いた『中原御宮記』  
(1843年、平塚市指定文化財、平塚市博物館蔵)

ました。御殿造営に合わせて豊田本郷村から中原へ村民の移住が行われ、御殿の機能を維持するための御鷹部屋・御馬屋・御殿番屋敷や、周辺地域を支配する中原代官屋敷なども設けられ、中原は御殿を中心とした城下町のような村となりました。

中原御殿の造営後、家康は御殿を拠点に鷹狩りや民情視察のほか、御殿で大名や家臣との謁見、大名の改易や論功行賞も行い、中原御殿は臨時に政治を行う場としても機能しました。



中原御殿跡地である平塚市立中原小学校

徳川家康没後、中原御殿は使用されなくなり、1657年に解体されました。部材は同年に発生した明暦の大火で焼失した江戸城の修復などに利用されたと考えられます。

御殿の跡地にはその後、松が植林され、徳川家康を祀る東照宮の祠も建てられました。現在、東照宮は中原の日枝神社に移されて祀られています。

(博物館学芸員)

## リトアニアだより(15) 終

### 言語の違いを超えて育んだ友情

平塚市がリトアニア共和国のホストタウンとして登録されてから6年が経ち、中でもアリートゥス市とカウナス市とは活発な交流を行ってきました。今回は、この2都市との文化交流について振り返ります。

アリートゥス市から最初に派遣されたのは、2017年の七夕まつりに合わせて来日したダンスグループ「アウスリネー」でした。屋外ステージや七夕おどり千人パレードに参加し、モダン、フォーク、コンテンポラリーなど様々なスタイルのダンスで来場者を魅了しました。



千人パレードで踊るアウスリネー

翌年の七夕まつりに合わせて来日したのは、アリートゥス音楽学校に通う13歳から18歳までの生徒8人で編成された音楽グループ「リタト」でした。リトアニア・ツィター(弦楽器)などの楽器を用いて、リトアニアの伝統的な音楽を届けました。また、滞在期間中は市内中学校の吹奏楽部や相州平塚七夕太鼓保存会と一緒に演奏するなど、音楽を通じた交流が行われました。

カウナス市からは2019年にリトアニアで最も古いフォークダンスグループ「スクティニス」が平塚にやってきました。来日したメンバーは総勢45人。中央公民館での公演以外に、フォークダンスや合唱を愛する市民団体と交流を行い、最後は皆で「七夕おどり」を輪になって踊りました。

同年、平塚市からは「相州平塚七夕太鼓保存会」を派遣し、リトアニア現地で行った公演は立ち見が出るほどの大盛況となり、平塚の伝統的な音色がリトアニアの人々の心に刻まれました。



リトアニアの子ども達に和太鼓体験を行う相州平塚七夕太鼓保存会

このように言語は違っていても、音楽を奏で、肩を組んで踊り、リトアニアと平塚市は友情を育んできました。この友情は文化だけではなく、スポーツや教育など幅広い分野でも育まれています。沢山の友情はこれまでの交流のレガシーの1つであり、これからも次代を担う子ども達を中心にさらに大きく深く育まれていくことを願っています。

(オリンピック・パラリンピック推進課)

プロにきく!

# 劇場の楽しみ方 第3回 オーケストラ

2022年3月26日、見附台周辺地区によいよ「ひらしん平塚文化芸術ホール」が開館します。劇場で生の音楽や演劇に触れたことはありますか？ 劇場体験初心者に向けて、さまざまな専門家に楽しみ方を教えてもらいます。

第3回のテーマは「オーケストラ」。神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽主幹の榊原さんにお尋ねしました。

## Q. 鑑賞前に知っておくことはある？

A. 能、歌舞伎、落語などと同じ様に、クラシック音楽は何度も聴きながら少しずつ変化を楽しむ芸術でもあります。初めてでも勿論楽しみはたくさんありますが、自分の好きな曲や、新しく聴く曲を事前に少し聴いておくと、鑑賞の際により楽しくなるでしょう。

## Q. 演奏者がたくさんいるけど、どこを見ればいいのか？

A. オーケストラは弦楽器、管楽器、打楽器の仲間に分けられます。さらに弦楽器は4種類、管楽器も木管と金管で8種類の楽器があり、打楽器は小さな楽器を入れると無数にあります。

演奏する全体の姿を見ても良いですし、これら1つずつの楽器を見つめながら、演奏方法の違いを知る事も楽しいと思います。協奏曲などでのソリストやオーケストラ曲で活躍する楽器などを知っておくことも楽しいと思います。



オーケストラのセッティング

## Q. オーケストラ鑑賞がもっと楽しくなる見どころ・聴きどころは？

A. 音を出さない指揮者が、どのようにアンサンブルをまとめているのか、指揮棒を持っていない左手はどのように動かすと意味があるのか、など指揮者に興味を持つのは上級者の聴き方です。またコンサートマスターが全体を引っ張っていく様子や、横に並ぶ管楽器奏者が息を吸うタイミングを合わせてアンサンブルしている様子などを見ながら一緒に息を吸うと、ともに演奏をしている気分を味わえるかもしれません。



客席から見た設営の様子

## Q. 演奏中にやっちゃいけないことはある？

A. 両隣や前後の方の鑑賞の妨げになるようなことです。例えば、演奏中にプログラムやビニール袋を触る音は目立ちますし、友人同士でも演奏中におしゃべりすることはマナー違反です。良い音楽で眠くなるのは悪い事ではありませんが、寝息が大きくなるのは気をつけたいですね。



榊原さん、オーケストラを聴きたくなるような楽しいお話をありがとうございました。

ひらしん平塚文化芸術ホールの開館がいよいよ間近に迫ってきました。新しい大ホールでオーケストラを楽しんでいただく際には、ぜひこの楽しみ方を思い出してください。

撮影：藤本史昭

## 今回のプロは・・・ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

地域に密着した活動を通じて、お客様のための、お客様が集まる、お客様に愛されるオーケストラを目指して新鮮な感動をお伝えしていきます。県内巡回公演も行っており、県内の多くの皆様の近くで演奏することを目的としています。

## 平塚市文化振興基金に御協力を

平塚市文化振興基金は、市民文化の振興を図るために活用されています。基金に御協力くださる方は、平塚市文化・交流課まで御一報ください。(2021.10.1~2022.1.31までに御寄附くださった方) 2021.12.24 しんわ本人自治会連合会/2022.1.7 竹遊会

発行 平塚市文化・交流課 | 〒254-8686 平塚市浅間町 9-1

電話 0463-32-2235 FAX 0463-21-9756 E-mail bunkoh@city.hiratsuka.kanagawa.jp

令和4年(2022年)2月15日発行 右の2次元バーコードより文化情報誌「たわわ」へアクセスできます。

